

○事業所名	こどもサークルつくば要（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 17日		～ 2026年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年 12月 22日		～ 2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケアや体調管理を含めた健康・生活面の安全確保を最優先とし、姿勢保持やポジショニングに配慮した運動・感覚への働きかけを行い、わずかな反応や変化を丁寧に捉えることで認知・行動面への関わりを積み重ねるとともに、表情や視線、身体反応を意思表示として尊重する言語・コミュニケーション支援を行い、安定した関係性の中で人間関係・社会性を育む支援を実施している。	日々の体調の変化を丁寧に観察し、安全を最優先通した支援を行うとともに、医療的ケアに関する手順を確認しながら、事故防止に努めている。	医療的ケア・重度心身障がい児支援に関する専門研修の継続的实施と医療機関等との連携体制を強化する。
2	医療的ケアを含む児童を受け入れ、安全に配慮した支援体制を整えており、一人ひとりの身体状況・健康状態を踏まえた個別性の高い支援を行っている。	わずかな反応や表情の変化を捉え、意思表示として尊重する関わりを行っている。	支援内容や成長の過程を可視化する記録及び評価方法を検討する。
3	医療や看護、福祉の視点を取り入れた多職種連携を意識した支援を行うとともに、発達や生活の質の向上を意識した関わりを行っている。	保護者へ支援内容や体調面の報告を行い、不安軽減を意識するとともに、職員間での情報共有を重視し、支援の統一性を保つよう努めている。	緊急時対応やリスク管理に関する定期的な訓練を実施する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	医療的ケア児を含む支援であるため、専門人材の確保や定着が課題となっている。	医療及び重度心身障がい児分野における慢性的な人材不足。	医療的ケアを含む重度心身障がい児に特化した人材育成・研修体制の整備及び職員の負担軽減を目的とした支援体制・相談体制を強化する。
2	医療・福祉・教育機関との連携が、属人的になりやすい側面がある。	医療機関との連携が個別関係に依存しており、医療的ケアに関する情報提供の難しさも要因として考えられる。	医療機関との定期的なケースカンファレンスの実施を検討する。
3	職員の心身負担が大きく、継続的な支援体制維持に配慮が必要。また、医療的対応に対する保護尾者の不安が残りやすい。	高い緊張感を伴う業務が継続する支援特性が課題の要因として考えられる。	緊急時対応マニュアルの整備及び定期的な訓練を実施する。